

奈良が有する観光資源や歴史・文化資源を活用し、
県内への誘客を促進し、観光産業を振興します。



県内宿泊客増加に向けた観光の振興

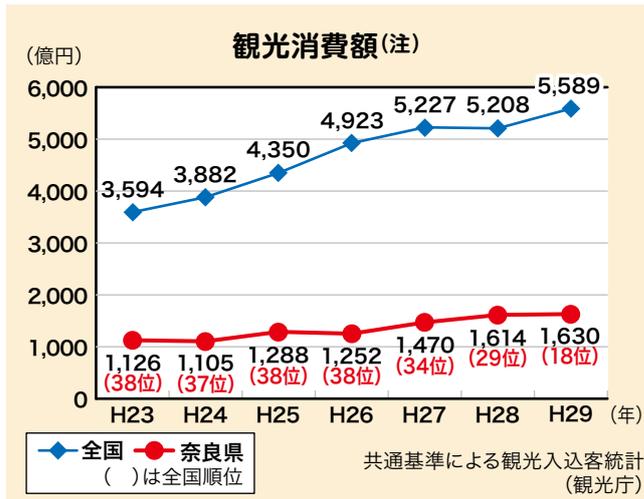
主担当部局：観光局

◆ 目指す姿

平成31(2019)年までに、**観光消費額を1,900億円**にします。



ジャポニスム2018における神事芸能の披露(フランス)



(注) 都道府県により公表時期が異なるため、年により公表されている都道府県数が異なります。
H23:43都道府県 H24:43都道府県 H25:44都道府県 H26:43都道府県
H27:42都道府県 H28:41都道府県 H29:26都道府県
(平成30年12月末時点)

◆ 主な戦略と戦略目標

意欲ある宿泊施設を取組を支援するとともに、誘致に向けた取組を強化し、**宿泊施設の質と量を充実**させます。

延べ宿泊者数

255万人
平成27(2015)年

目標

280万人
平成31(2019)年

外国人観光客の**受入環境の整備**を進めるとともに、「食」「宿泊」「土産物」についての**観光客の満足度の向上**を促します。

宿泊観光客の1人当たり観光消費額

25,683円
平成27(2015)年

目標

28,000円
平成31(2019)年

歴史文化資源を活用した観光資源の開発に取り組み、**奈良の魅力**をより一層向上させます。

観光入込客数

4,146万人
平成27(2015)年

目標

5,000万人
平成31(2019)年

インバウンド誘客の地力をつけることを中心に、**観光誘客の強化**、**県域全体への周遊・滞在型観光の推進**に取り組みます。

外国人訪問客数

103万人
平成27(2015)年

目標

240万人
平成31(2019)年

奈良が有する観光資源や歴史・文化資源を活用し、
県内への誘客を促進し、観光産業を振興します。



質の高いイベントの実施と県の文化力の向上

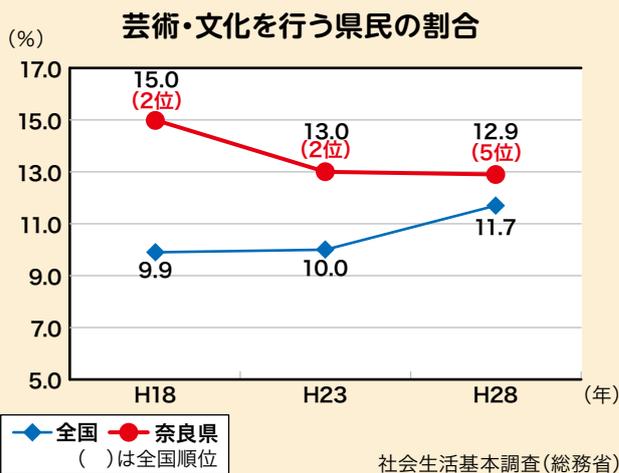
主担当部局：地域振興部

◆ 目指す姿

平成33(2021)年度までに、**芸術・文化を行う県民の割合**を**全国1位**にします。



奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭「オープニングフェスティバル」
(五條市上野公園総合体育館)



◆ 主な戦略と戦略目標

芸術文化への参加・鑑賞の機会や活動の裾野を拡大します。

奈良県大芸術祭及び奈良県障害者大芸術祭のイベント催事数

808 催事 (平成29(2017)年度) → 目標 800 催事以上を維持 (平成33(2021)年度)

芸術文化への参加・鑑賞の機会や活動の裾野を拡大します。

県民アンケート調査における「ムジークフェストなら」の周知度

21.9% (平成26(2014)年度) → 目標 55.0%以上 (平成33(2021)年度)

歴史を通して、県民の文化への理解を深めます。

県立文化施設の来訪者数

132万人 (平成25(2013)年度) → 目標 136万人 (平成31(2019)年度)

歴史を通して、県民の文化への理解を深めます。

県民アンケート調査における文化に対する県民の満足度(文化遺産や史跡が大事にされること)

3.58ポイント (平成28(2016)年度) → 目標 3.50ポイント以上を維持 (平成33(2021)年度)